

『忠度集』伝本考（上） 資料編

— 伝本一覽・書名対照・奥書識語等一覽・所載歌歌番号対照表・他文献所載状況一覽 —

犬井善壽

本稿は、数多く伝わる平忠度の家集『忠度集』——後述のとおり、種々の書名で伝わるが、本稿においては、検討の底本とする架蔵の寛文七年版行本の外題である『忠度集』で代表させる——の諸本間でいささか差異のある本文等について検討し、この集として信頼し得る伝本あるいは本文を追求しようとするものである。

本稿（上）は、その最初の作業報告として、まず、『忠度集』の現存伝本について、諸文庫・諸図書館や諸先覚が蔵書目録や研究論文等において所在を報告されたことのある伝本等を「一覽」として示し、次に、稿者が比校・検討を了えた伝本——国文学研究資料館収蔵マイクロ資料による比校・検討を含む——について、この集の種々の書名を整理・対照する。次に、各伝本に載る奥書・識語等を「一覽」として掲げ、示された年号で奥書等を整理する。最後に、諸伝本の所載歌について載・不載・配列・総数を歌番号によって確認し、「対照表」として示し、併せて、『忠度集』に載る歌の他文献所載状況を、これも歌番号によって「一覽」として提示する。

数多い伝本の所在等の整理を目指し、今後所在が報告される伝本の位置づけの尺度とするという目論見もある。本紀要次巻に投稿を予定している本稿（下）においては、まず諸先覚による『忠度集』に関する本文研究を整理して問題の所在を明かにし、諸伝本間の本文の差異を検討して伝本分類を試み、本文の吟味を通じて『忠度集』の信頼し得る本文を有する伝本の追求、もしくは本来的な本文を確定する手続きの在り方について考察する。

〈二〉 『忠度集』伝本一覧

諸先覚が所在を報告された『忠度集』の伝本について諸文庫・諸図書館等の蔵書目録等によってそれを確認し、所在を知り得た伝本および諸文庫・諸図書館等の担当の方々等のご助力によって所在を知り得た伝本を一覧として掲げる——諸文庫・諸図書館の担当の方々のお力添えて諸先覚の報告の誤り等を補正することがある——。

次に掲げる文献・目録類(括弧内は略号)の順に、その文献・目録類における記載順に、『忠度集』の伝本の所在を追跡する。各本に略称を与え、所蔵者・書名・略注・参照文献を示す。書名等について、原典により先覚の報告を補正することがある。文献や目録類の間で重出するものは、先に参照した文献と蔵書目録とを示す。

- ① 私家集伝本書目(私)
- ② 私家集伝本書目・補遺(私補)
- ③ 補訂版 国書総目録(国)
- ④ 国書総目録・補遺(国補)
- ⑤ 古典籍総合目録(総)
- ⑥ 国文学研究資料館マイクログ資料目録(資)
- ⑦ 私家集大成・解題(大)
- ⑧ 新編国歌大観・解題(新)
- ⑨ 諸文庫・諸図書館等公刊蔵書目録(目録)
- ⑩ H P 所掲蔵書目録(H P)
- ⑪ 諸氏論文(論)
- ⑫ 諸叢書(叢書)
- ⑬ 図書館等レファレンス調査(調)
- ⑭ 稿者架蔵(架蔵)

「略称」は、稿者がその本文全文について比較・検討を完了した伝本、および先覚の示された校異調査を置き換えることで全文の比較・検討を了えた伝本に、仮に与える、本稿(上・下)の検討に限っての略称である。

「所蔵者」は、当該伝本を所蔵される個人・寺社・文庫・国公立図書館・大学附属図書館等の名称を示す。大学附属図書館については大学名のみを示す。なお、図書館内の特殊文庫収蔵本については、それを明記する。

「書名」は、巻首題等の内題もしくは本文と同筆の扉題を掲げる。内題や本文と同筆の扉題を有していない伝

本については、別筆扉題・外題・帙題・箱題等を掲げる。

「略注」は、奥書等で判明する書写年・書写者・旧藏者や叢書名・合綴文献等について、要点を注記する。

「参照文献・目録等」は、この「伝本一覽」作成に当り参照した前掲の文献等の略号や文献名の省略を示す。諸文庫・諸図書館の公刊蔵書目録については、文庫名・図書館名・附属図書館名を省略して掲げることがある。稿者未見の伝本の書名および略注等については、参照した文献や蔵書目録等の記載に従うものとする。

なお、書名や事項に「？」印を付したものは、諸先覚に報告はあるが現在は確認できない伝本もしくは事項である。また、略称欄に「×」印を付したものは、諸先覚に報告乃至言及はあるが伝存したことが確認できないものや、『補訂版 国書総目録』とその続編として編まれた『古典籍総合目録』とで重出する伝本、などである。「――」を付した伝本は、虫損甚大その他の理由で、閲覧・拝見がかなわなかったものである。

《伝本一覽》

略称 所 蔵 者

写 本

書 名

略 注

参照文献・目録等

| | | | |
|---------------|----------|--------------|-------------|
| 狩野 東北大学 狩野文庫 | 平忠度集 | 外題ハ平忠度一代集 | 私 同館和漢書分類目録 |
| 彰考 彰考館文庫 小山田本 | 忠則百首 | 日吉宝前百首等ト合綴 | 私 彰考館図書目録 |
| 部類 彰考館文庫 | 忠度百首 | 百首部類一ノ内 | 私 彰考館図書目録 |
| 川越 川越市立中央図書館 | 忠度朝臣所詠百首 | 文化九写、斎藤彦磨識語 | 私 同図書館資料室調 |
| 国会 国立国会図書館 | 忠渡百首 | 叢書料本一四ノ内 | 私 同館図書書目録 |
| 御所 宮内庁書陵部 | 忠度朝臣集 | 秋冬恋四〇首脱。御所本 | 私 図書寮典籍解題 |
| 源大 宮内庁書陵部 | 源大府卿集冒頭部 | 秋冬恋四〇首 | 私 森本氏論 |
| 桂宮 宮内庁書陵部 | 百首和歌 | 平忠度 桂宮本(御所本) | 私 大成・新編ノ底本 |

| | | | | | |
|-----|----------------|----------|-------------|---|-----------|
| 書陵 | 宮内庁書陵部 | 忠度百首詠哥 | 俊成卿述懐百首等ト合綴 | 私 | 国書分類目録 |
| 青木 | 静嘉堂文庫 | 忠度朝臣所詠和哥 | 青木氏旧蔵。為尹本ノ写 | 私 | 同文庫国書分類目録 |
| 新居 | 静嘉堂文庫 | 忠度卿百首和歌 | 小田清雄本ヲ新居守村写 | 私 | 同文庫国書分類目録 |
| 色川 | 静嘉堂文庫 | 詠百首和歌 | 付種生伝。色川氏旧蔵 | 私 | 同文庫国書分類目録 |
| 尊経 | 尊経閣文庫 成巽閣委託 | 忠度朝臣百首和歌 | 山本基庸写。一軸 | 私 | 同文庫国書分類目録 |
| 本居 | 東京大学国文研究室 本居文庫 | 忠度百首和調 | | 私 | 本居文庫目録 |
| 東京 | 東京大学国文研究室 | 忠度家集 | 寛永九。忠度詠百首和歌 | 私 | 古典籍目録 |
| 墨海 | 国立公文書館 内閣文庫 | 平忠度朝臣百首 | 墨海山筆別集卷八ノ内 | 私 | 同文庫国書分類目録 |
| 澄清 | 国立公文書館 内閣文庫 | 忠度詠歌イ百首 | 澄清楼叢書六ノ内 | 私 | 同文庫国書分類目録 |
| 加賀 | 都立中央図書館 加賀文庫 | 忠度卿百首 | | 私 | 加賀文庫目録 |
| | 無窮会専門図書館 平沼文庫 | 平忠度詠百首 | 昭和十二写。宝永本 | 私 | 平沼文庫目録 |
| | 久曾神昇氏 志香須賀文庫 | 平忠度百首和歌 | | 私 | |
| 岩瀬 | 西尾市岩瀬文庫 | 平忠度百首 | 順徳院御製百首ト合綴 | 私 | 岩瀬文庫図書目録 |
| 神宮 | 神宮文庫 | 忠度百首和歌 | 寛延四、五嶋氏写 | 私 | 神宮文庫図書目録 |
| 狐防 | 神宮文庫 | 百首・狐防法 | 守覚・頓阿等百首ト合綴 | 私 | 神宮文庫図書目録 |
| 平松 | 京都大学 | 忠度和歌集 | 平松家本 | 私 | |
| 今井 | 賀茂別雷神社 三手文庫 | 忠度集 | 今井似閑本 | 私 | |
| 天理 | 天理図書館 | 忠度集 | | 私 | 天理図書館蔵書目録 |
| 国籍 | 天理図書館 竹柏園蔵書志所掲 | 忠教百首 | 国籍類書ノ内第二二三冊 | 私 | 天理図書館蔵書目録 |
| 東大寺 | 東大寺図書館 | 百首和歌 | | 私 | |
| 黒川 | ノートルダム清心女子大学 | 忠度朝臣所詠百首 | 黒川家本。文政十二読合 | 私 | 同館特殊文庫目録 |

| | | | | | | | | | |
|----|-------------|------------|------------|---------------|----|------------------------|--|--|--|
| 小城 | 佐賀大学 | 小城鍋島文庫 | 平朝臣忠度集 | | | | | | |
| 鍋島 | 佐賀大学 | 小城鍋島文庫 | 忠教百首 | 新装仮帙背題ハ忠敬百首 | 私 | 島津氏論。文庫目録 | | | |
| 松平 | 島原市立図書館 | 松平文庫 | 忠度百首 | | 私 | 小城鍋島文庫目録 | | | |
| 北岡 | 熊本大学 | 北岡文庫(永青文庫) | 平忠度朝臣百首 | 細川幽齋写 | 私 | 日P永青文庫目録 | | | |
| | 小川寿一氏 | | 忠教百首 | 享保五写 | 私 | | | | |
| | 小川寿一氏 | | 平忠度百首 | 元治二写 | 私 | | | | |
| 木村 | 木村弥三郎氏 | | 忠度集(仮題) | 鎌倉期写。前半欠。一軸 | 私 | 福田氏論。吉田氏論 | | | |
| | 森本元子氏 | 曼殊院旧藏 | 忠度集・忠則百首 | 弘文荘書目26所掲 | 私 | 森本氏論・古典文庫 ₂ | | | |
| 温故 | 今治市河野美術館 | | 忠則百首和歌 | 弘文荘書目28温故堂文庫本 | 私 | | | | |
| | 竹柏園藏書志 | 所掲 | 忠度百首 | お茶の水図書館現蔵カ | 私 | 竹柏園藏書志 | | | |
| | 竹柏園藏書志 | 所掲 | 忠度百首 | お茶の水図書館現蔵カ | 私 | 竹柏園藏書志 | | | |
| | 久保田淳氏 | 大橋本 | 忠度朝臣所詠和歌 | 詠哥和歌百首ノ内 | 私補 | | | | |
| 内閣 | 国立公文書館 | 内閣文庫 | 忠度百首イ詠哥 | 浅草文庫・和学講談所本 | 国 | 同文庫国書分類目録 | | | |
| 狐川 | 大阪市立大学 | 森文庫 | 狐川詠草 | 宝曆三写 | 資 | 森文庫目録 | | | |
| 岩崎 | 関西大学 | 岩崎美隆文庫 | 薩摩守忠度集 | 二条院讚岐集卜合綴 | 国 | 岩崎美隆文庫目録 | | | |
| 関西 | 関西大学 | | 忠度朝臣所詠百首和歌 | | 国 | 同館レファレンス調 | | | |
| 熊本 | 熊本大学 | 文学部森教授研究室 | 平忠度詠 | 八代市松井家寄贈書 | 国 | 松井家寄贈古書目録 ₃ | | | |
| 小田 | 東北大学 | | 忠度御百首和歌 | 小田清雄旧蔵。明治写 | 国 | 同館和漢書分類目録 | | | |
| 千葉 | 千葉県立中央図書館 | | 百首和歌 | | 国 | 同館内奉仕課調 | | | |
| 高岡 | 高岡中央図書館 | | 忠度百首 | 新編和歌叢書ノ内 | 国 | | | | |
| 鶴舞 | 名古屋市鶴舞中央図書館 | | 狐川詠草 | 正保二写 | 国 | | | | |

お茶の水図書館 成實堂文庫

忠度百首

国

天理図書館 古義堂文庫

忠度卿百首和歌

享保十五、松岡愨庵写

古義堂文庫目録

三条家

忠度百首

国

久曾神昇氏

忠度百首

新院御百首ト合綴

国

築瀬一雄氏

平忠度百首

寛永二十写。一軸

国

玉里 鹿児島大学 玉里文庫

薩摩守忠度詠歌

順徳院御製ト合綴

国補

玉里文庫目録

東洋 東洋大学

忠度集(但箱題)

箱題二「定家本」ト角書

国補

× 岡山県総合文化センター図書館

平忠度朝臣集

同館蔵校註国歌大系本

? 国補

センター奉仕課調

× 千葉県立中央図書館

? 百首和歌

千葉本。国ト国補重出

? 国補

同館内奉仕課調

都立 都立中央図書館 特別買上文庫

平忠度百首

嘉永元、藤原助之写

国補

特別買上文庫諸家

吉田 天理図書館 吉田文庫

薩摩守忠教百餘首詠歌

曾禰社御奉納和歌ト合綴

国補

小野 岡山大学 小野文庫

忠度百首

岩禰本。国ト総テ重出

? 総

岩崎美隆文庫目録

× 関西大学 岩崎美隆文庫

薩摩守忠度集

岩崎本。国ト総テ重出

? 総

岩崎美隆文庫目録

桑原 島根大学 桑原文庫

忠度百首

二条院讃岐集ト合綴

総

桑原文庫目録

今治 今治市河野美術館

忠度集

天保十三、橘長隆写

総

河野 今治市河野美術館

百首哥 平忠度

小城本。国ト総テ重出

? 総

小城鍋嶋文庫目録

× 佐賀大学 小城鍋嶋文庫

平朝臣忠度集

調合貞永六年八月ト合綴

総

菅文庫目録

茨菅 茨城大学 菅文庫

忠則朝臣所詠百首

調合貞永六年八月ト合綴

資

菅文庫目録

仙台 仙台中央図書館

平忠度朝臣百首和歌

泉亭本

国

泉亭 賀茂別雷神社 三手文庫

忠度詠哥

嘉永二、沙門定信写

国

森文庫目録

| | | | | | |
|----|----------------|----------|---------------|---|-----------|
| 大方 | 大方保 (B本) | 忠度朝臣所詠百首 | B本ハ杉山氏論ノ命名 | 資 | |
| 佐賀 | 佐賀県立図書館 | 忠度朝臣所詠百首 | 明治十一、長淵本校合 | 資 | |
| 小林 | 名古屋大学 小林文庫 | 忠度之百首 | 慶安元写 | 資 | 小林文庫目錄 |
| 北畑 | 北海学園大学 北畑文庫 | 平忠度朝臣百首 | 沢庵百首等合 | 資 | |
| 陽明 | 陽明文庫 | 忠度百首 | | 資 | |
| | 谷山茂氏 | 忠度集 | | 大 | 大成・新編ノ解題 |
| 静嘉 | 静嘉堂文庫 色川氏旧蔵 | 平忠度詠百首 | 国書分類目錄ハ忠度百首 | | 文庫目錄。吉田氏論 |
| 北野 | 北野天満宮 | 平忠度朝臣集 | 鴨長明集ト合綴。明治写 | | 天満宮和書漢籍目錄 |
| 桃園 | 東海大学 桃園文庫 | 平忠度集 | 和歌廿家集ノ内 | | 桃園文庫目錄 |
| 三康 | 三康文化研究所 三康図書館 | 忠度百首 | 享禄二、藤末葉写 | | 同館蔵書目錄国書編 |
| 文化 | 三康文化研究所 三康図書館 | 忠則百首 | 天明三、是玉堂北島写 | | 同館蔵書目錄国書編 |
| 青山 | 篠山市教育委員会 青山会文庫 | 忠度百首 | 冷泉為尹本ノ写 | | 同会和漢書分類目錄 |
| 有吉 | 有吉保氏 (A本) | 忠度百首 | 以下ABC D有吉氏論命名 | | 有吉氏論翻刻 |
| | 有吉保氏 (B本) | 忠度百首 | 延宝九写 | | 有吉氏論 |
| | 有吉保氏 (C本) | (題欠) | 紅梅文庫本 | | 有吉氏論 |
| | 有吉保氏 (D本) | 平忠度朝臣集 | 有房集ト合綴。森氏旧蔵 | | 有吉氏論 |
| 慶応 | 慶応義塾大学三田情報センター | (題欠) | 和歌題林抄ニ付載 | | 川村氏論翻刻 |
| 日本 | 日本大学文学部図書館 | 忠度百首 | 藤川百首ト合綴 | | 杉山氏論 |
| 杉甲 | 杉山重行氏 (甲本) | 平忠度集 | 以下甲乙丙杉山氏論命名 | | 杉山氏論翻刻 |
| 文理 | 日本大学文学部図書館 | 平忠度百首 | 三洲旧蔵。一軸 | | 杉山氏論 |
| | 大方保 (A本) | (未確認) | A本ハ杉山氏論ノ命名 | | 杉山氏論 |

浜口博章氏

杉乙₁ 杉山重行氏 (乙本)

杉丙₂ 杉山重行氏 (丙本)

本位田菊士氏

冷泉 冷泉家 時雨亭文庫

十二 川越市立中央図書館

犬甲 犬井架藏 (甲本)

犬乙 犬井架藏 (乙本)

断簡・歌切

定家 定家筆断簡 (六七—六九番歌)

歌切 定家筆歌切 (七〇番歌)

寛文七年版行本

寛文 静嘉堂文庫 松井文庫

寛文 神宮文庫

寛文 国文学研究資料館 初雁文庫

寛文 盛岡公民館

寛文 甲南女子大学

杉山重行氏

寛文 犬井架藏

元禄九年版行本

西尾市岩瀬文庫

(未確認)

忠度百首

(未確認)

忠度家集

忠度朝臣集

忠度詠歌

忠度朝臣所詠百首

忠則百首

杉山氏論

杉甲トノ校異ノミ置換・比校 杉山氏論校異

杉甲トノ校異ノミ置換・比校 杉山氏論校異

引合百首ト副題注記アリ 本位田氏論

十二家集ノ内 時雨亭叢書影印

歌仙堂記本 同図書館資料係調

天明三、野村良恭写 架藏

天三、野村良恭写 架藏

『某家所藏品目録』昭和十七年 伊井氏論翻刻

徳川黎明会『霜のふり葉』掲 杉山氏論。叢書影印

狩谷望之書入。山森版行 私 同文庫図書分類目録

刊記ノ面切取。版元不明 私 神宮文庫図書目録

山森六兵衛版行 総 初雁文庫目録

藤井五兵衛版行 資

藤井五兵衛版行 同館和装本漢籍目録

藤井五兵衛版行 杉山氏論

忠度集 (未確認) 架藏

忠度集

平忠度詠百首

蜀山人手入本

私 岩瀬文庫図書目録

大州市立図書館 矢野玄道文庫 平忠度詠百首 総 同文庫分類目録
 絵入 盛岡公民館 平忠度詠百首 資
 絵入 刈谷市中央図書館 村上文庫 平忠度詠百首 元禄九刊、絵入忠度百首 資
 刊年不明版行本 忠度百首 元禄九刊絵入忠度百首カ ? 私
 刈谷市中央図書館

群書類従元版本

類従 群書類従 第二五七 元版 平忠度朝臣集 文政二、正編完了 私 諸文庫図書館等目録

所在不明伝本

住吉 住吉大社御文庫 忠度集 奉納御書籍、平野屋左兵衛 御文庫貴重図書目録
 住吉大社担当神職調

伝存したくないもの

× 静嘉堂文庫 ? 忠度朝臣詠和歌 忠度朝臣所詠和哥カ ? 吉田氏論。? 有吉氏論
 × 岡山県総合文化センター図書館 平忠度朝臣集 校註国歌大系本ヲ指ス ? 国補 センター奉仕課調
 × 千葉県立中央図書館 ? 百首和歌 千葉本ト同一伝本 ? 国補 同館館内奉仕課調
 × 関西大学 薩摩守忠度集 「総」ト「国」ト重出 ? 国 同館レファレンス調
 × 佐賀大学 ? 平朝臣忠度集 「総」ト「国」ト重出 ? 総
 小城本ノ複写ヲ指スカ 同館閲覧係調

〔注1〕参照文献・目録等の項における「諸氏論文」「叢書」とは、以下に掲げる諸先覚の研究論文や叢書類や文献目録類における言及や翻刻、および叢書類における影印等を指す。

福田氏紹介

資料紹介(2)木村氏藏「忠度集」(福田秀一氏・「和歌史研究会会報」二一・昭和三十六年六月)

吉田氏・神作氏論文

鎌倉時代古写「忠度集」の解説(吉田幸一氏・神作光一氏・「王朝文学」六・昭和三十六年一月)

島津氏論文

小城鍋嶋文庫「忠度集」(島津忠夫氏・「王朝文学」七・昭和三十七年一〇月)

森本氏論文

忠度集に關する覚書―成立と本文―(森本元子氏・「王朝文学」一〇・昭和三十九年五月。『私家集の研究』昭和四一年一〇月、再録)

有吉氏論文

忠盛集・忠度集について―伝本と本文の問題点―(有吉保氏・「語文」五九・昭和五九年五月)

伊井氏翻刻・影印

・定家筆の私家集切―高遠集・紫式部集・和泉式部集・俊忠集・基俊集・忠度集・唯心房集・玉吟集―
 (伊井春樹氏・「日本語・日本文化研究論集」大阪大学文学部共同研究論集・四・昭和六三年三月)
 ・『古筆切資料集成 卷三 私家集・詠草』(伊井春樹氏編・平成二年一月)

川村氏論文

慶応義塾大学三田情報センター藏『平忠度集』―翻刻と解題―(川村晃生氏・「芸文研究」五八・平成二年一月)

成二年一月)

杉山氏論文

忠度集について―伝本と本文を中心に―(杉山重行氏・「王朝文学 資料と論考」平成四年八月)

本位田氏論文

架藏写本二題（本位田菊士氏・「季刊ぐんしよ」六一四・再刊三二・平成五年一〇月）
 徳川黎明会叢書 影印

『古筆手鑑編』 蓬左・霜のふり葉・八雲』所収『霜のふり葉』（昭和六二年二月）

冷泉家時雨亭叢書 影印

第二六卷『中世私家集』所収『忠度朝臣集』（井上宗雄氏解説・平成七年二月）

（注2）森本元子氏『小侍従集・二条院讀岐集』（古典文庫・昭和三三年八月）所収『小侍従集とその成立』

（注3）荒木尚氏『松井家寄贈古書目録』（『国語国文学研究』二・昭和四一年二月）

（注4）杉乙本・杉丙本については、杉山氏論文における杉甲本の翻刻に示された校異に従って、杉甲本に対す

る異同を本稿の検討の底本である寛文七年版行本に置換した。表記の差異に及ぶ全文比較は未了である。

＜二＞ 『忠度集』の書名対照

『忠度集』は、前節に掲げた「伝本一覽」に見るように、種々の書名で伝わっている。本節においては、稿者が比較を了えた伝本についてその異なり書名の全てを整理し、書名によって諸本を分類し、一覽表とする。

文献の書名は巻首題等の内題や本文と同筆の扉題がその最も拠るべきものであるが、『忠度集』の伝本の中には内題を示さないものがかかりあり、扉題・外題・帙題・箱題を併せ示すことにする。尤も、内題とそれら外題等を合せて同列に掲げるとかえって混同が生じる。内題を上段、それ以外の外題等を下段と、分けて掲げる。

内題と外題等とで示される書名の異なる伝本がある。別称を併せ掲げる伝本がある。他伝本や対校した伝本等の書名について注記する伝本もある。そのいずれもが『忠度集』の書名の種々相の実態を示す情報であるわけで、これらも全て、（一）内に「別」「イ」等の注記を添えて、掲示する。

なお、「忠則」「忠教」のごとき異表記、「忠敬」「忠渡」のごとき誤表記は、全て「忠度」に併せる。外題等に掲げた伝本の内の傍線を施した伝本は、内題にも同一あるいは別種の書名が示されているものである。掲出する書名の配列順は、おおむね、類似の書名をまとめ、短い書名から長い書名へと掲げる。他意はない。

《書名対照表》

書名

書名が示されない伝本

内題 (別称の添書を含む)

外題・扉題・校合題等

青木・東大寺・東洋・泉亭・佐賀・小林

尊經・本居・東京・加賀・岩瀬・平松
今井・天理・国籍・小城・鍋島・松平
北岡・狐川・熊本・岩崎・東洋・小野
桑原・今治・陽明・三康・文化・青山
犬乙・寛文

木村・慶応

今治

川越・平松・木村・慶応
今井・天理・黒川 (扉)・東洋 (箱)・
今治 (扉)・寛文

欠損等で書名不明の伝本

忠度家集

忠度歌集

忠度詠歌

忠度百首

澄清・内閣 (イ)・泉亭・十二

彰考・部類・国会・澄清 (イ)・内閣

有吉・高岡・日本 (扉)

新居 (イ)・小田 (イ)・十二

彰考・桂宮・色川・尊経 (箱)・澄清 (イ)・神宮・狐防 (別)・国籍・鍋島・

松平・温故・関西・都立・小野・桑原・

大方・北畑 (扉)・陽明・三康・文化・

青山・有吉・日本・杉乙・十二 (イ)・

仙台

忠度之百首

忠度百首和歌

忠度百首詠歌

忠度和歌百首

忠度朝臣集

忠度朝臣家集

忠度朝臣百首

忠度朝臣百首和歌

忠度朝臣所詠百首

忠度朝臣所詠和歌

忠度朝臣所詠百首和歌

忠度卿百首

忠度卿百首和歌

平忠度集

平忠度詠

平忠度家集

平忠度百首

平忠度詠歌

平忠度詠草

平忠度詠百首

小林

神宮・温故

書陵

犬乙・繪入

本居

書陵

千葉

御所・冷泉

茨菅

黒川・市森・犬甲

尊経

川越・黒川・茨菅・大方・佐賀・犬甲・杉丙

青木

関西

新居・小田

狩野・桃園・杉甲

狩野

市森

都立・文理

都立・文理

静嘉・繪入

静嘉・繪入

静嘉・繪入

加賀
新居・小田

熊本

岩崎

岩瀬

澄清
(扉)・文理

内閣

内閣

静嘉

平忠度百首歌
 平忠度一代集
 平忠度朝臣集
 平忠度朝臣詠歌
 平忠度朝臣百首
 平忠度朝臣百首和歌
 平朝臣忠度集
 薩摩守忠度集
 薩摩守忠度百首
 薩摩守忠度詠歌
 薩摩守忠度朝臣百首
 薩摩守忠教百餘首詠歌
 薩侯忠度卿百首
 狐川詠草
 狐川百首
 百首 忠度
 百首 狐防法
 百首歌 平忠度
 百首和歌
 百首和歌 平忠度
 詠百首和歌

冷泉・御所・類從・北野
 墨海・北駕
 仙台
 温故 (別)
 玉里
 吉田
 仙台 (別)
 鶴舞
 狐防
 河野
 東大寺・千葉
 桂宮
 色川

河野
 狩野
 北野・冷泉 (見返)
 玉里 (扉)
 北岡・北駕
 小城
 岩崎
 岩瀬 (扉)
 黒川 (扉)
 吉田
 仙台 (別)
 吉田
 狐川・鶴舞
 黒川 (扉朱)
 狐防

参考 (未見ノ伝本デ、以上トハ書名ノ異ナルモノ)

引合百首

本位田菊士氏藏本 (副題注記。本位田氏論ノ引用ニ拠ル。未見)


平忠度百首和歌

久曾神昇氏藏 志香須賀文庫本 (未見)

薩摩守忠度百首詠

新興古書大即売展略目 (昭和六〇年一二月。未見)



〈三〉 伝本の奥書識語等一覽

管見に入り、本文を比較し了えた『忠度集』諸伝本に載る奥書識語・刊記・跋文等を、全て、揭示する。判読不能の文字は「」とする。

幾次にもわたる奥書を有する伝本や幾種もの奥書識語等を引用し併せ示す伝本がある。それらについては、それぞれの奥書識語に、A・B・C::a・b・c::a・β・γと、英字・ギリシヤ文字により略号を与え、各奥書等の最初に掲げる。なお、そのばあい、同文の奥書等や近似する文章・内容の奥書等は同一の略号とする。複数の奥書識語等を載せるばあい、各奥書等の略号の右肩にその伝本所載の順を、1・2……と数字を以て示す。

書写その他について早い年号を示す奥書等を含む伝本から、順に掲げる。書写が早い伝本というわけではない。

奥書等の字高の相違や文字の大小の差異については、煩雑を避け、さほど厳密に掲示することはしない。奥書等の筆色、位置、空白その他については、可能な限り、() 内に、カタカナ交り文で注記する。

「」印はその奥書識語・刊記における改行を、「」印は改面を、それぞれ示す。

奥書等の本文を揭示した後、諸奥書の種別に各伝本を整理して一覽とし、そこに示された年号について各奥書識語・刊記等を整理して一覽とする。

《奥書識語等一覽》

奥書・刊記・識語等を有していない伝本

彰考・御所・桂宮・本居・加賀・狐防・天理・国籍・小城・鍋島・木村・玉里・東洋・桑原・茨菅・

北駕・陽明・杉甲・文理・杉乙・杉丙・冷泉・泉亭（本文ノ末尾ニ「畢」トアルガ、奥書ハナイ）

今治

A

右の本ハ薩摩守忠度のおそん俊成卿ノのもとへつかはし侍りし自筆の本を大樹ノより出され兵部卿むね綱卿にかきてまいら／すへきよし仰らる然るに予彼卿の学庫にノ行て後世の證本にそなへんかためみしノかき筆にまかせてうつしと、めよみあ／はせ侍りけると《にイ》なむ《括弧内右行間書入》ノ

文明十六三月の中の三日 羽林藤ハらのもと春

松平

B¹

右平忠度都落之時五条三位所江持参之卷ノ物是也世間無披露者也」

C²

写本云 此一帖以彼自筆卷物也卒写之自愛也眞ノ助也一ツ樂一ツ喜書料紙云《手》積左道非一雖然予

ノ生涯寔樂在淺旁一ツ禁外貞《見？》云々《》括弧内、行間書入。「貞」ハ「見」ノ誤カ）ノ

延徳二年林鐘三日 右中將 ノ 《二行アキ》

A³

右の本ハ薩摩守忠度のおそん俊成卿もとへつかノハし侍りし自筆の本を大樹より出され兵部卿ノ宗綱卿にかきてまいらすへきよし仰らる然に予彼ノ卿の学席に行て後世の證本にそなへんかためみしかき筆にまかせてうつしと、めよみあはせ侍ノりけるとなむ ノ

文明十六年春三月の中の三日 羽林藤原基春 ノ 《二行アキ》

D⁴

平経正朝臣撰津國にまかりてなをとつれぬそとノ申て侍ける返しに申つかハしける ノ

我のミやいふへかりける別ちハゆくもとまるもおなし思ひを

黒川

C¹

写本云ノ此一帖以彼自筆卷物也《三字細字》ノ卒写之自愛也眞助也可樂ノ可喜書料紙定手跡左道悲雖ノ然市生涯豊所樂在淺旁ノ可禁外見ノ

延徳二年林鐘三日 右中將 在判 《右行間細字》百四代後土御門院御宇 《左行間細字》將

軍義尚公時代 〈上小口朱〉 一本此跋なし／

文政十二年丑冬十月九日以龍城館藏本校合字／鈴木尚志〈朱〉〔城館〕八同館〔特殊文庫目録〕

此集一本に題號を狐川百首とするす／俊成卿に此朝臣のまいらせ給しハこれなり／けるにや〔扉裏朱〕

有吉

F³ B¹ B 右平忠度都落之持五條／三位所江持參之卷物也／世間無披露者也 〈有吉氏論翻刻ニヨル〉

青木

B¹ B 本云／平忠度都落之時五條三品所江持參／卷物也世間無披露者也

G² 又云／以冷泉大納言為尹卿本書寫之了

青山

B G 本云／〈B〉右忠度都落時五条三品所持參卷物是也」無世間披露者歟 〈G〉以冷泉大納言為尹卿書寫

／本寫之畢

三康

A¹ 右乃本ハ薩广守忠度／朝臣俊成卿のもとへ／つかハし侍し自筆の本／を大樹より出され兵部／卿宗綱

にかきてまいら／すへき由仰らる然に予／彼卿の学席に行て／後世の證本にそなへ／むかためミしか

き筆に／まかせてうつしと、めよ／みあはせ侍りけるとなん 〈一行アキ〉

文明十六年春三月中三日 羽林藤原基春 〈一行アキ〉

H² 右一帖予空為之時写／留了尤可為龟鏡而／己

享祿第二曆梅天日 藤末葉

岩崎

I¹ みきの哥平家ミやおちの時さつまのかミ／た、のりきつね川よりひき返し俊成卿へ／まいりわたさ

る、自筆之うつしなりかミの／たけかなのつ、けやうすこしもちかへす候ものなり

A² 右の本ハ薩摩守忠度のおそん俊成卿のもとへつかはし侍りし／自筆の本を大樹より出され兵部卿むね

綱卿にかきてまいらすへきよし／仰らる然るに予彼卿の学席に行て後世の證本にそなへんかためみし

／かき筆にまかせてうつしと、めよみあはせ侍りけるになん

文〈天?〉明十六三月の中の三日 羽林藤原基春 〈天明ハ九年ニ寛政ト改元〉

一本ノ奥書如此板ニハナシ

熊本
小野
国会

J 右歌平家都落之時薩摩守忠度從狐河引婦／俊成卿江持參給云々
K 此百首和歌平家都落之時薩摩守忠則自／狐河引婦俊成卿江持て所驗之自筆之／卷物書写之畢
B¹ 右平忠渡都落之時五條俊成之所へ持參之／卷物是也世間無披露者也／（二行アキ）

A² 右の本は薩摩（廣）守忠渡朝臣俊成卿の／許へ遣し侍りし自筆の本を大樹より出／され兵部卿宗綱にかきて參らすへきよし仰らる／然ニ予彼卿の学席に行て後世の證本に／そなえんかためみしかき筆にまかせて／うつし留め讀合侍りたるとなむ（へ）括弧内、見セ消テ、右行間訂正」

C³ 文明十六年春三月之中の三日 羽林藤原基春／（二行アキ）

此一帖以彼自筆卷物也卒写之自愛也／冥助也一楽一喜二書料紙云手蹟左／道非一雖然予生涯豈所楽在旁／一禁外貞（見？）云云（貞）ハ（見）ノ誤カ）／

延徳二年林鐘三日 右中将」

猶木胤祿

墨海

A¹ L¹

右の本ハ薩摩守忠度朝臣俊成卿のもとへつか／ハし侍りし自筆の本を大樹より出され兵部卿／宗綱に書て參らすへきよし仰らる然に予彼／卿の草庵に行て後世の證本にそなへんかため／みしかき筆に任てうつし留よみあハせ侍りける／となん／

文明六年春三月中三日 羽林藤原基春／（二行アキ）

H² 右一帖 予其客其明写留し故可為龜鏡而已／

享祿第二曆梅天日 藤 末葉」（二行アキ）

M³ 一本跋／右百首之和歌薩摩守忠度所詠也忠度以自筆／俊成卿江持參之本者／禁府納有之由又一卷忠度

最後之時分迄所持之／源家光公在府庫而為御物近臣齋藤撰州／被書寫之亦大橋龍慶法印再寫之今也以其／本謄寫之者也／禁裏有之本寫ニモ令校令者也／

寛永二十癸未仲春初三書之」

N⁴ 右一帖應永井狐白翁之需漫揮毫於勢陽／潤津帶雨亭／

貞享三丙寅菊花天 太田猶龍子／（一行アキ）

O⁵ 右薩摩守忠度百首和歌校合并跋文臨寫芙蓉／先生 肥前蓮池城主鍋嶋撰津守／御内儒業近藤齋官卜云

（以上二十字、細字割注）以秘藏本書寫畢／

P⁶ 明和三年丙戌夏六月乙未中浣甲寅日／安藤善望所持／（一行アキ）

右忠度百首一卷以或人所持之本寫之訖」

安政二年乙卯十月中旬望後三日／梅處閑人旭岱子

桃園

A（朱筆）右之本者薩广守忠度朝臣俊成卿の許へ遺し／侍りし自筆の本を大樹より出され兵部卿宗綱卿に／書てまゐらすへきよし仰らる然るに予彼卿の学席に／行て後世の證本に備んか為ししかき筆にまかせて／写留めよミ合侍りけるとなむ／

文明十六年春三月中の三日

十二

A¹（朱筆）群書類従本奥書／右之本者薩广守忠度朝臣俊成卿のもとへ遺し侍りし自筆の本を大樹より出され兵部卿宗綱卿にかきてまいらすへきよし仰らる／然るに予彼卿の学席に行て後世の證本にそなへんかためし／かき筆にまかせて写留めよミ合侍りけるとなむ／

文明十六年春三月中の三日 羽林藤原基春／（以下、一面空白）

Q² 此歌集者平家都落之時薩摩守／忠度自狐川引返俊成卿江被猷／所自筆東武城中有之云々

書陵

Q 此和歌集者平家都落之時薩摩守／忠度自狐河引返俊成卿江被猷所／之自筆東武之城中有之云々

仙台

Q 此哥集者平家都落之時薩摩守忠度／自狐河引返俊成卿江被猷処自筆東武／之城中有之云々／

繪入

S² R¹ 延徳式年林鐘三日／右中將／
元禄九稔丙子陽春穀／鱗形屋板

T³ 〈刈谷本。墨筆〉 右平忠度朝臣の詠百首和哥彼自筆の一卷江戸の大樹大相国秀忠公の御物たり或人
 山はらひの折節一字たかへすに写して予にさつけらるもの／也所々文字の見あやまりなどみえたり本
 のま、書之而也／老か身のかたみとをみよ涙さへなかれそいたる水くきのあと 〃

正保四曆丁亥弥生上旬 空巖／梁受書之 〃

A⁴ 〈貼紙〉右之本者薩摩守忠度朝臣俊成卿の／もとへ遣し侍りし自筆の本■／より遣され兵部（以下、略）

文明十六年春三月中の三日 羽林藤原基春

類從

A¹ 右之本者薩摩守忠度朝臣俊成卿のもとへ遣し侍りし自筆の本を大樹より出され兵部卿宗綱／卿にか
 きてまいらすへきよし仰らる然るに予／彼卿の学席に行て後世の證本にそなへんか／ためミしかき筆
 にまかせて写留めよミ合侍り／けるとなん 〃

文明十六年春三月中の三日 羽林藤原基春 〃

U² 右忠度朝臣集以古寫二本比校了（細字）

北野 A 右之本者薩摩守忠度朝臣俊成卿のもとへ遣し侍りし自筆の本を大樹より出され兵部／卿宗綱卿にか
 きてまいらすへきよし仰らる然るに予彼卿の学席に行て後世の證本にそなへんかためミしかき筆
 にまかせて写留めよミ合侍りけるとなん 〃

文明十六年春三月中の三日 羽林藤原基春

小田

A¹ ○ール本（朱・歌本文ノ末尾）（上小口朱）右之本者薩摩守忠度朝臣俊成卿の／もとへ遣し侍りし自
 筆の本を大樹／より出され兵部卿宗綱卿にかきて／まゐらすへきよし仰らる然るに予／彼卿の学席に
 行て後世の證本／にそなへんかためミしかき筆にまかせ／て写留めよミ合侍りけるとなん 〃

文明十六年春三月中の三日 羽林藤原基春

C³ B² 〈本文面〉右平忠度都落之時五條三位所へ持参卷物「也／是」〔括弧ヲ括ル〕世間無披露物也し 〃
 此一帖以彼自筆卷物也率写之自愛也眞／助也可楽可喜云料紙云斗蹟左道非一雖然／予生涯豈所楽在淺

新居

旁可禁外見而已 /

延徳貳年林鐘三日 / 右中將

文化十め十二月六日夜写了 /

W⁶ Q⁵ V⁴

古写本奥書云 此卷ハ平家都落ノ時薩摩守忠度自狐川引返俊成卿へ被猷所自筆東武城ノ中有〔朱筆〕先師古人都是香翁のミツから写して校異しおかれし本を此ごろ友だちノ藤原熊太郎 大坂ノ人〔割注〕の得てミせにおこせけるをおほやけわたくしいとまかひノまに筆写しつ /

明治十五年九月 小田清雄 /

A¹ Y⁸ X⁷

以群書類従本加一校了 企十六年六月廿八日夕 清雄

同本奥云右忠度朝臣集以古写二本比較了 /

〇—ル本〔朱・歌本文ノ末尾〕へ上小口朱 〇—右之本者薩广守忠度朝臣俊成卿ノのもとへ遣し給ひし自筆の本を大樹ノより出され兵部卿宗綱卿にかきてノまるらすへきよし仰らる然るに予ノ彼卿の学席に行て後世の証本ノにそなへんかためミしかき筆にまかせノて写留めよミ合侍りけるとなん /

文明十六年春三月中の三日 / 羽林藤原基春

C³ B²

〔本文面〕右平忠度都落之時五條三位所へ持参巻物「也ノ是」〔括弧テ括ル〕世間無披露物也 /

此一帖以彼自筆巻物也草写之自愛也冥ノ助也可楽可喜云料紙云斗蹟左道非一雖然ノ予生涯豈所楽在浅旁可禁外見而已 /

延徳貳年林鐘三日 / 右中將

文化十四十二月六日夜写了 /

W⁶ Q⁵ V⁴

古写本奥書云 此卷ハ平家都落ノ時薩摩守忠度自狐川引返俊成卿へ被猷所自筆東武城ノ中有 /

先師古人都是香翁のミツから写して校異しおかれし本を此ごろ友だちノ藤原熊太郎ノ大坂ノ人〔割注〕の得てミせにおこせけるをおほやけわたくしいとまのひノまに筆写しつ 明治十五年九月 小田清

雄 /

以群書類従本加一校了 同十六年六月廿八日夕 清雄」

同本奥書右忠度朝臣集以古写二本比较了」

Z⁹ Y⁸ X⁷

此書 / 和泉國堺人小田氏雲魯の御所望の遠より夢の根のねもころに見せに / おこせたれば老人の
見延かたき目にめかねといふものとりかけてかく / 写しおくなりとり見む人こゝろなくとりならし
そゆめ /

明治十六年十月二日

新居守村 / 年七十六

北岡

C¹

写本如此 / 此一帖以彼自筆卷物也卒写之自愛也 / 冥助也可樂可喜書料帑・手跡左道 / 非一雖然性予生
涯豈所樂在淺 / 旁外(可)禁外見而已(へ)括弧内、見セ消テ、右行間訂正」 /

延徳二年林鐘三日

右中将 在判 /

以右本写之」

a²

此百首以自筆写之云々 借件本 / 加書写校合訖 / 幽齋玄旨「花押」

関西

B^C

(B) 右平忠度都落之時五条三位俊成卿之許江持参之 / 卷物是也世間ニ無披露之者也 (C) 此一帖以
彼自筆之卷 / 物也卒写之自愛也冥助也一楽一喜言料紙云予生 / 涯豈所樂在誠第一禁外見云々 /

延徳二年林鐘三日

右中将

川越

B¹

(B) 右平忠度都落の時五条三位俊成卿の元江持参の / 卷物是也世間無披露者也 (C) 此一帖以彼自
筆卷物也 / 卒寫之自愛也冥助也一楽一嬉云料紙云手蹟老道 / 非一雖然予生涯豈所樂在淺第一禁外見云

々 / 延徳二年林鐘三日 右中将」 (以下、一行アキ)

平家物語 / わかれ路(を) なにかなけかんこえて行せきもむかしのあと、おもへは / このうたハ忠度

b²

東國より下りし時年ころむつましかりし女房の返ことによめるとなん /

- 同／月を見しこそこのよひの友のミヤ都に我をおもひいつらん／此うたハたゝのりうきにて九月十三夜はかりによめるとなん」
- 同／ゆきくれてこのしたかけを宿とせハはなやこよひのあるしならまし／此うた忠のり六弥太とくん
 〈ミ〉て討死し玉ひし時旅宿花といふ題にてえひらに／ゆい〈ひ〉つけられたるに〈と〉なん」
- 〈以上、へ〉括弧内、見セ消テ、右行間訂正〉 〈以下、三行アキ〉
- c³ 文化九とせあまり水無月みつの日申剋あまり／うつしはしめおなしく四つの日午の剋はかりに／筆をやすめぬ 平文「花押」
- d⁴ 筆写の誤すくならずよミかたし／洛陽花老人 〈朱筆。「彦磨写」方印〉
- Q¹ 此歌集者平家都落之時薩广守忠度／自狐河引返俊成卿江被猷所自筆東武／之城中有之云々／
- R² 一本／延徳二年林鐘三日 右中将
- e³ 此歌平家都落之時薩摩守忠度淀川尻より引帰俊成卿江／持參云々 〈朱筆〉
- R¹ 延徳貳年林鐘三日 右中将
- f² 嘉永元年水無月／藤原助之写之
- R¹ 延徳貳年林鐘三日 右中将
- g² 寶永三丙戌歳五月十二日書 津山氏高任「花押」
- h¹ 〈忠度集ノ末尾〉濃州安八郡平野庄／日吉山一乗寺蓮花院常住 〈別墨・別筆。川村氏論翻刻ニヨル〉
- i² 〈和歌題林抄ノ末尾〉此一冊坂口諸左衛門方以重俊所望難去不願惡／筆令書写畢／大永式壬午六月五日
- j 右筆吉祥坊信舞 〈和歌題林抄ト同墨同筆。川村氏論翻刻ニヨル〉
- 右薩广守忠度詠百首和哥任写本／書之誤多者也
- 寛永九年十月上旬
- k¹ 右此百首薩摩守忠則以自筆／本令書写畢／藤原三友 判

寛永廿ノ二月下旬ノ
みち知らぬ我みつくきのノ跡とめてのちの世までもノ名やなかすへきノ

越山人 是玉堂 北島〔島〕か 書ノ

天明三年ノ卯九月中旬ノ鶴啼館江贈る

鶴啼

m¹ 右之詠哥者平家都没落之時薩摩守ノ忠度從狐川引掃俊成卿之許江被持參ノ給自筆江戸ノ將軍家御〔藏〕物ニ在之而ノ其写云々ノ〔へ〕括弧内、左行間書入

正保二年ノ雨ノ九月下旬書畢

右之書或人傳來之処予又乞請てノ為家秘之寶書者也ノ

右之書文字等うたかハしき処ノ其外落字あまたありといへノとも本の儘書写置もの也

p⁴ o³ n² 〔見返内貼紙〕右狐川詠草或人傳來之処予又乞請て家寶〔途中テ書写ヲ中止〕

狐川

m¹ 右之詠哥者平家都没落之時ノ薩摩守忠度從狐川引掃ノ俊成卿之許江被持參給自筆ノ江戸ノ將軍家御物置ニ在之而ノ其写云々ノ

正保二年ノ雨ノ九月下旬書畢

右之書或人傳來之処予又乞請てノ為家秘之寶書者也ノ

右之書文字等うたかハしき処ノ其外落字あまたありといへノとも本の俣写置者也ノ

q⁴ o³ n² 右完卷小林先達傳來之処ノ令懇望写置者也ノ

宝曆三年ノ二月九日 〔花押〕

小林

吉田

岩瀬

r 慶安元戊子仲冬吉辰書之
s 本云ノ万治元年二月書之ノ権大納言資勝
t¹ 此歌平家都落之時薩摩守忠ノ度從狐川引掃俊成卿江持之所給自筆江戸ノ將軍様有之写訖
u² 右百首松平新太郎殿真跡以或人ノ所持之本写之ノ于時万治二亥年也

神宮

此哥平家都落之時薩摩守忠度從／狐川引掃俊成卿江持而來給自筆江戶／將軍様御物之写本也
〔林崎文庫奉納文、本文、省略〕

林崎文庫奉納／小笠原右近太夫源忠真朝臣小臣／万治元戊戌年冬十一月十八日 豊田忠弥重之敬白
延享元申子年夏 吉澤末統借寫之

寛延四辛未年林雨廿八日 五島氏寫之

〔林崎文庫書生等〕ニヨル、本書ガ〔豊田氏〕カラ〔林崎文庫〕ニ収マル説明、省略

寛文七丁未曆閏二月吉日 東洞院東へ入榎木町 藤井五兵衛板行

此百首之歌壽永二年平家都／落之時薩摩守忠度朝臣從狐川／引返俊成卿江持參云々 〔一行アキ〕

寛文八年仲春中旬書之詔

此百首之壽壽永二年平家都／落之時薩摩守忠度朝臣從／狐川引返俊成卿へ持參云々 御本云／于時元禄龍飛戊寅年仲春中五日写之 六十五歳 心覺子 〔一行アキ〕

于時元禄甲申弥生十日令書写畢重而可遂清／書也写本急々返納依之可有繁多／誤者也／桑門寂筆筆之

右一卷者薩摩守平忠度朝臣／詠歌也必淇園大兄之需而馳／禿毫以塞其責始五十首者摸／中古之風體自

是至卷尾者／摸上古之風妹矣時寶永己丑／冬十二月上游敲氷水面其功兮／老懶危年甚失態度者歟後來

／見者勿嘲哂云尔 萬壽並相二十四世入木道相承源齋

右百首之〔和〕歌薩摩守忠度之所詠也即以／自筆俊成卿江忠度持參之本者／禁府ニ納之由亦一卷忠度

最後之節マテ所持之／本者／源家光公在府庫而御近臣齋藤攝州被書寫之亦大橋龍慶法印被再寫之今

以其／本寫之／禁中ニ有之寫ニモ令校合者也 〔括弧内、右行間書入〕

享保十九年甲寅八月 島高張

明治十三年十一月十八日購求 〔花押〕

ζ²

温故

M¹

尊經

ε

高岡

δ²

犬甲

γ¹

大方

β²

寛文

a¹

寛文

z

y⁵

x⁴

w³

v²

t¹

日本 η¹ 此百首ハ薩广守忠度のうた也ノ平家一門ミやおちの時俊成卿ノのもとへ持行玉ひ此内にノ可然哥あ

らハ千載集に入ノをき玉へと望たまひしと也ノ
安永八年三月写 (同筆合綴ノ「藤川百首」ノ末尾)

犬乙 ι 天明三癸卯年ノ仲春小日向茗荷谷ニ而書写ノ 鳳樹堂ノ 野村良恭

澄清 Q¹ 此歌集者平家都落之時薩摩守忠度ノ自狐河引返俊成卿江被献所自筆東武ノ之中有之云々ノ

忠度詠草一卷附属妹叙以令贍寫也ノ 文政己卯臘月朔日 耀識 (澄清楼叢書六ノ最末尾)

河野 λ 天保十三寅年春 橘長隆書

市森 μ 右武家百人一首并忠度朝臣の歌集は加納氏の蔵書をノ借得て写置ものなり嘉永二酉年九月三日 沙門

定信

佐賀 a¹ 此百首之歌壽永二年平家都落ノ之時薩摩守忠度朝臣從狐河引返ノ俊成卿江持參云々ノ

此一帖明治十一年四月三十日長洲有武自筆ノ本ヲ以校合スノ 今泉彌守

今井 ζ 此抄□大樹公(御)所持御本ノ者紙血付有之由或人物ノ語此本先年焼失与聞傳之一年七夕乎向殘ノ者

惜歎 本ノマ、〔本ノマ、〕マデ。全文本文ト別筆。へ括弧内、書入

狩野 o 本云 平忠度朝臣詠哥也

千葉 π¹ 右百首和謔者壽永二年平家ノ都落之時薩摩守平忠度朝臣ノ五条三位俊成卿之宅江被持參ノ云云先軸之

通令書写之者也

あさかほの花一ときも千とせマヤ經松かせらぬ心とも哉よほノ

委樹千年終是朽槿花一日自為栄 (末尾遊紙、第一行、薄字判読)

平松 σ 右た、のり自筆の本ノ又是をうつすかな大かたノまへのことし但不審有之

色川 τ 右百首者薩摩守忠度卿都落之初途中より取て返しノ五条三位俊成卿の許におハして鑑の引合より巻物

取出一ノ首成共撰集に撰入可給旨頼けるを三位殿さ、浪ノの歌朝敵の身の上なればとてよミ人しら

すとそ入られたり尚其余もひそめて置けるを定家卿之許よりこひ受／写し畢ぬ／

月 日

東大寺¹ 此詠艸一卷俊成卿江忠度持參今一卷之／引替軍戰ニ持參而則詠草ニ血付たるといふ／一卷は松平公方

様ニ有以本為書写本小出大／守殿有以本傳写者也兩家之本に今世間／否定治宜不知／

φ² (細字) 父忠守も哥人金葉より以來ノ集哥見えたり母も白川院官女ノ哥人なり／

雲井よりた、もりきつる月なれハ／おほろけにてはいはしと思ふ」

以上撰集入哥四首千載集斗讀人不知残り平忠度ト有り

参考

本位田^λ 忠度卿至最後而所被携自筆之本／源家光公為秘藏。以マ写之本令書写之畢。／頗可謂証本者歟。雖然恐有伝写之誤。然／其後俊成卿へ持參之本□□禁裏文庫有之／而為伝写本得之。再加校合者也。／

文亀式壬戌菊月 実尹「花押」 〈本位田氏論翻刻ニヨル〉

部類 ψ 『百首部類一』所収『忠度百首』ニハ奥書ノ類ハナイガ、例エバ次々続ノ『詠百首和歌 散位長綱』

ノ末尾ニハ、「慶安二年」ノ本奥書ノアト「延寶式午歳 洛陽新贍本」トイウ奥書ガ載ル。

諸伝本の奥書の各部分について、伝本相互の同文関係を整理しておく。上段に各奥書の部分の略号(A・a・a等)を掲げ、下にその奥書を持つ伝本を略称によって示す。その奥書を単独で載せる伝本を先に、複数の奥書等を持つ伝本を後方に、略称の右肩に1・2…と数字を添えて当該伝本における順序を示し、掲載順に掲げる。

《奥書等分類一覽》

奥書識語・刊記等を持たない伝本

彰考・御所・源大・桂宮・本居・加賀・狐防・天理・国籍・小城・鍋島・木村・玉里・東洋・桑原・茨替
北駕・陽明・杉甲・文理・杉乙・杉丙・冷泉・泉亭(末尾ニ「畢」トアルモ奥書ハナシ)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|---|-----------------|-----------------|-----------------|----------------------------------|-----------------|----|----|-----------------|----------------------------------|--------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------------|--|--|---|
| S | R | Q | P | O | N | M | L | K | J | I | H | B G | G | F | E | D | B C | C | B | A |
| 絵入 ² | 絵入 ¹ ・都立 ¹ ・静嘉 ¹ ・内閣 ² | 書陵 ¹ ・仙台 ¹ ・内閣 ¹ ・澄清 ¹ ・十二 ² ・小田 ⁵ ・新居 ⁵ | 墨海 ⁶ | 墨海 ⁵ | 墨海 ⁴ | 温故 ¹ ・墨海 ³ | 国会 ⁴ | 小野 | 熊本 | 岩崎 ¹ | 三康 ² ・墨海 ² | 青山 | 青木 ² | 黒川 ¹ | 黒川 ² | 松平 ⁴ | 関西 ¹ ・川越 | 黒川 ¹ ・北岡 ¹ ・松平 ² ・国会 ³ ・小田 ³ ・新居 ³ | 有吉 ¹ ・青木 ¹ ・松平 ¹ ・国会 ¹ ・小田 ² ・新居 ² | 今治 ¹ ・桃園 ¹ ・北野 ¹ ・三康 ¹ ・岩崎 ¹ ・墨海 ¹ ・十二 ¹ ・類從 ¹ ・小田 ¹ ・新居 ¹ ・国会 ² ・松平 ³ ・絵入 ⁴ |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| o | n | m | l | k | j | h | g | f | d | c | b | e | a | Z | Y | X | W | V | U | T |
| 鶴 ³ 舞 | 鶴 ² 舞 | 鶴 ¹ 舞 | 文 ² 化 | 文 ¹ 化 | 東 ¹ 京 | 慶 ¹ 応 | 静 ² 嘉 | 都 ² 立 | 川 ⁴ 越 | 川 ³ 越 | 川 ² 越 | 内 ³ 閣 | 北 ² 岡 | 新 ⁹ 居 | 小 ⁸ 田 | 小 ⁷ 田 | 小 ⁶ 田 | 小 ⁴ 田 | 類 ² 從 | 繪 ⁹ 入 |
| 狐 ³ 川 | 狐 ² 川 | 狐 ¹ 川 | | | | | | | | | | | | 新 ⁸ 居 | 新 ⁷ 居 | 新 ⁶ 居 | 新 ⁴ 居 | | | |

(類從U奥書ノ引用)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---|----------------|----------------|----------------|---|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---|---|----------------|----------------|
| κ | ι | θ | η | ζ | ε | δ | γ | β | α | z | y | x | w | v | u | t | s | r | q | p |
| 澄 ² | 犬 | 日 ² | 日 ¹ | 温 ² | 尊 | 高 ² | 高 ¹ | 大 ² | 大 ¹ | 寛 | 神 ⁵ | 神 ⁴ | 神 ³ | 神 ² | 岩 ² | 岩 ¹ | 吉 | 小 | 狐 ⁴ | 鶴 ⁴ |
| 清 | 乙 | 本 | 本 | 故 | 經 | 岡 | 岡 | 方 | 方 | 文 | 宮 | 宮 | 宮 | 宮 | 瀬 | 瀬 | 田 | 林 | 川 | 舞 |
| | | | | | | | | | | ・ | | | | | | ・ | | | | |
| | | | | | | | | | | 佐 ¹ | | | | | | 神 ¹ | | | | |
| | | | | | | | | | | 賀 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | ・ | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 犬 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 甲 | | | | | | | | | | |

| | |
|---|------------------|
| λ | 河野 |
| μ | 市森 |
| ν | 佐賀 ² |
| ξ | 今井 |
| ο | 狩野 |
| π | 千葉 ¹ |
| ρ | 千葉 ² |
| σ | 平松 |
| τ | 色川 |
| υ | 東大寺 |
| φ | 東大寺 ² |
| χ | 本位田 |
| ψ | 部類 |

次に、各伝本の奥書識語・刊記などに示される年号について、年代順に整理し、西暦年号を注記しておく。

上段に紀元年号・西暦年号（算用数字）・伝本名（略称）を掲げる。下段にその伝本に示される奥書等の前掲の略号（A・a・a等）を掲げる。下段に掲げたその複数の奥書識語のうち、ゴチックで掲げたものに上段の年号が示されている。ここで各伝本の全ての奥書等の略号を掲げ、その奥書等の略号の右にその順序の番号を添えるのは、上段に掲げる年号記載が複数の奥書等の年号記載の中の一であることを明確にして、その年号記載がその奥書の中のどのような位置にあるかを明示し、以て前掲一覧の整理と対照できるようにするためである。

最下段に、その奥書識語の書写奥書・書写奥書転写・校合奥書・購入日覚書などの別を注記する。

揭示の順は、複数の奥書や識語を持つばあい、各奥書の各部分に分割し、所拠本の奥書等の年代順とする。同年号を記す同文奥書等については、単独の奥書として載るものを先に、複数奥書中に載るものを後方に配する。

《奥書等記載年号一覽》

奥書識語に年号の明示の無い伝本

有吉 B・青木 B¹G²・青山 B¹G²・熊本 B¹G²・熊本 J・小野 K・書陵 Q・仙台 Q・慶応 h¹・日本 n¹θ²・
 犬甲 a・今井 ぞ・狩野 o・千葉 π¹ρ²・平松 σ・色川 τ・東大寺 υφ¹・部類 ψ

文明 六 (1474)

墨海

A¹・H²・M³・N⁴・O⁵・P⁶

〔十六年〕ノ誤・書写校合奥書転載

文明一六 (1484)

今治

A

(書写校合奥書転載)

々 桃園

A

(書写校合奥書転載)

々 北野

A

(書写校合奥書転載)

々 三康

A¹・H²

(書写校合奥書転載)

々 十二

A¹・Q²・H²

(書写校合奥書転載)

々 類徒

A¹・U²

(書写校合奥書転載)

々 小田

A¹・B²・U²

(類従本奥書朱転載)

々 新居

A¹・B²・U²

(類従奥書転載)

々 岩崎

A¹・B²・U²

(類従奥書転載)

々 国会

I¹・A² (二天明)

(書写校合奥書転載)

々 松平

B¹・A² (二天明)

(書写校合奥書転載)

々 絵入

B¹・A² (二天明)

(書写校合奥書転載)

延徳 二 (1490)

黒川

C¹・E²・F³

(T・Aハ刈谷本書込・貼紙)

(書写奥書転載)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天明 | 安永 | 明和 | 宝暦 | 寛延 | 延享 | 享保 | 宝永 | 宝永 | 元禄 | 元禄 | 元禄 | 貞享 | 寛文 | 寛文 | 万治 | 万治 | 慶安 | 正保 |
| 三 | 八 | 三 | 三 | 四 | 一 | 九 | 六 | 三 | 一七 | 一一 | 九 | 三 | 八 | 七 | 二 | 一 | 一 | 四 |
| (1783) | (1779) | (1766) | (1753) | (1751) | (1744) | (1734) | (1709) | (1706) | (1704) | (1698) | (1696) | (1686) | (1668) | (1667) | (1659) | (1658) | (1648) | (1647) |

文化² 犬乙 日本² 墨海⁵ 狐川⁴ 神宮⁴ 神宮³ 温故¹ 尊経 静嘉² 高岡² 高岡¹ 絵入² 墨海⁴ 大方² 寛文 岩瀬² 神宮² 吉田 小林 絵入³

k¹ i θ² η¹ A¹ H² M³ N⁴ O⁵ P⁶ m¹ n² o³ q⁴ t¹ y² w³ x⁴ y⁵ t¹ v² w³ x⁴ y⁵ M¹ ζ² ε R¹ g² y¹ δ² γ¹ δ² R¹ S² T³ A⁴ A¹ H² M³ N⁴ O⁵ P⁶ α¹ β² z t¹ u² s r R¹ S² T³ A⁴ (T・A八刈谷本書込・貼紙)

(書写奥書貼付転載)
 (書写奥書)
 (書写奥書転載)
 (林崎文庫奉納文)
 (書写奥書)
 (刊記)
 (書写奥書)
 (書写奥書)
 (書写奥書)
 (書写奥書)
 (書写奥書)
 (書写校合奥書)
 (書写奥書転載)
 (書写奥書)
 (書写奥書)
 (合綴文献書写奥書)
 (書写奥書)
 (書写贈呈献辞日付)

〔四〕 諸伝本所載歌歌番号对照表

| 明記セズ「月日」 | 色川 | τ | |
|-------------|-----------------|--|------------|
| 文化九 (1812) | 川越 ³ | B ¹ | (書写奥書) |
| 文化一四 (1817) | 小田 ⁴ | C ¹ · C ² · C ³ · C ⁴ | (書写奥書転載) |
| 文化一四 (1817) | 新居 ⁴ | A ¹ · A ² · A ³ · A ⁴ | (書写奥書転載) |
| 文政二 (1819) | 澄清 ² | Q ¹ · κ ² | (書写奥書) |
| 文政二 (1819) | 黒川 | C ¹ · E ² · F ³ | (校合奥書) |
| 天保二三 (1842) | 河野 | λ | (書写奥書) |
| 嘉永一 (1848) | 都立 | R ¹ · f ² | (書写奥書) |
| 嘉永二 (1849) | 市森 | μ | (書写奥書) |
| 安政二 (1855) | 墨海 ⁶ | A ¹ · H ² · M ³ · N ⁴ · O ⁵ · P ⁶ | (校合奥書) |
| 明治一 (1878) | 佐賀 ² | a ¹ · v ² | (購入日覚書) |
| 明治一三 (1880) | 温故 ² | M ¹ · ζ ² | (書写奥書) |
| 明治一五 (1882) | 小田 ⁶ | A ¹ · B ² · C ³ · V ⁴ · Q ⁵ · W ⁶ · X ⁷ · Y ⁸ · Z ⁹ | (書写奥書転載) |
| 明治一六 (1883) | 新居 ⁶ | A ¹ · B ² · C ³ · V ⁴ · Q ⁵ · W ⁶ · X ⁷ · Y ⁸ · Z ⁹ | (類従校合奥書転載) |
| 々 | 新居 ⁷ | A ¹ · B ² · C ³ · V ⁴ · Q ⁵ · W ⁶ · X ⁷ · Y ⁸ · Z ⁹ | (類従校合奥書) |
| 々 | 新居 ⁹ | A ¹ · B ² · C ³ · V ⁴ · Q ⁵ · W ⁶ · X ⁷ · Y ⁸ · Z ⁹ | (書写奥書) |

本文を比較・検討し了えた『忠度集』諸伝本に載る歌一々について、その載・不載と歌順を検討し、総歌数を確認し、歌番号によってこれを対照表として示す。

底本を架蔵寛文七年版行本とし、上段第一段に底本および対校本名を略称によって掲げる。第一行（底本行）に、底本の通し番号を掲げ、以後の行に、対校本について、歌番号によってその異同を示す。

各頁の最終段に当該伝本の歌番号を掲げ、利用の際の混同の防止をはかることにする。

底本の各部立の最初の歌番号の右方に、部立名を掲げる。歌順の相違に因って部立配置を異にすることになる歌が若干あるが、注記は省略に従う。

伝本の配列は、先覚の分類にならない、一〇三首所収の本・一〇二首所収の本・一〇一首所収の本・一〇〇首所収の本・その他の順とし、各群の境を太い点線で区切る。御所本と源大本は合せて一本と見て一〇三首所収と扱ふ。所載歌数が同じであるばあい、底本である寛文七年版行本の転写と見てよい伝本を最初に、以後、おおむね書写の早い本を早い位置に、また、単独の写本を先に、合綴本や叢書所収本とその転写本を後に、歌の欠脱や独自の歌順の相違・錯簡等の見られる本を後方に配す。巻末追加歌は、ここでは追加と見て、考慮しない。

底本に載る歌が対校本に載らないばあい、「・」印を以てそれを示し、視覚により底本との差異の存在を訴えるべく、網掛けを施す。落丁等の物理的原因で歌を欠くばあいは「*」印を以て示し、「・」印とは区別する。

欠脱歌の内、同筆で本文が補入されているものは、（）括弧を付して通し番号に加算した歌番号を掲げ、網掛けを施す。別筆や朱筆による補入や他本との校合による補入は、「補」「朱」等と示し、歌番号を与えないものとする——但し、慶応本のみ、川村氏論文において当該本を翻刻された際に、詞書のみあつて歌は欠くものについても歌番号を与えておられることもあり、その翻刻に従い、この歌にも歌番号を与える。但し、これも「」括弧で括り、網掛けを施す——。補入歌については、末尾に注を付し、稿者の判断について注記しておく。

和歌二行書きの伝本において、上句のみ、あるいは下句のみを載せることがある。それらについては、「上」「下」

の文字を以てそのことを示し、網掛けを施す。上句・下句のみが載る歌はそれぞれを一首と数え、歌番号は通算番号に加える。但し、別個の歌の上句と下句が一首として写されているばあいは、合せて一首と扱う。

また、初句から目移りして次の歌の第二句へと書写を誤るものがある。それについては、「初」「二」の文字を以てそのことを示し、網掛けを施す。このばあいも、或る歌の初句と別の歌の第二句以下とから成る誤謬の歌ではあるが、合せて一首と扱う。

歌順が底本と異なるばあい、当該伝本におけるその歌の歌番号を示し、網掛けを施す。錯簡に因ることが明らかな歌順の違いも、同様の扱いをする。但し、錯簡のばあい、網掛けを錯簡の範囲単位に広げて施す。

欠脱歌・補入歌・歌順相違歌・上句や下句のみ載る歌・錯簡など、底本と異なるものについて、その直前直後の歌の当該伝本における歌番号を掲げる。その他の歌については、歌の欠脱などが原因で底本と同じ歌番号であるとは限らないが、歌が同順に並んでいることでもあり、煩雑を避け、一々の歌番号は示さず、空白とする。

『忠度集』には載らない歌を卷末や奥書識語等に追加する伝本がある。それらの歌も、この歌番号対照表に掲示することにする。そのため、ここに、それらの歌を、一本を代表させて、掲げておく（濁点稿者）。

松平本 一〇四番（『新編国歌大観』の「解題」に拠ると、内閣本・谷山茂氏蔵本にも載る）

平縫正朝臣撰津國にまかりてなをとづれぬぞと申て侍けるに返しに申しつかハしける

私のミやいふべかりける別ちハゆくもとまるもおなじ思ひを

玉里本 一〇四番

続後拾遺夏 郭公をよめる

住吉の松としらずや子規岸うつ波のよるもなかなむ

澄清本 一〇四番（『新編国歌大観』の「解題」に拠ると、谷山茂氏蔵本にも載る）

旅宿

行かれて木の下かけをやど、セバ花やこよひのあるじならまし

川越本 一〇四番

平家物語

わかれ路(を) なにかなげかんこえて行せきもむかしのあと、おもへば

川越本 一〇五番

同

月を見しこぞのこよひの友のミや都に我をおもひいづらん

茨菅本 一〇四番

水上蛭

定家幼時

みつハ六つ五つ八十に影見えて水の上にも飛ほたるかな

茨菅本 一〇五番

同題

俊成のなをし

みつハ三つ五つハ五つ影見えて水のうへにも飛ほたるかな

東大寺本 一〇一番

父忠守も哥人、金葉より以来ノ集、哥見えたり。母も白川院官女、哥人なり。

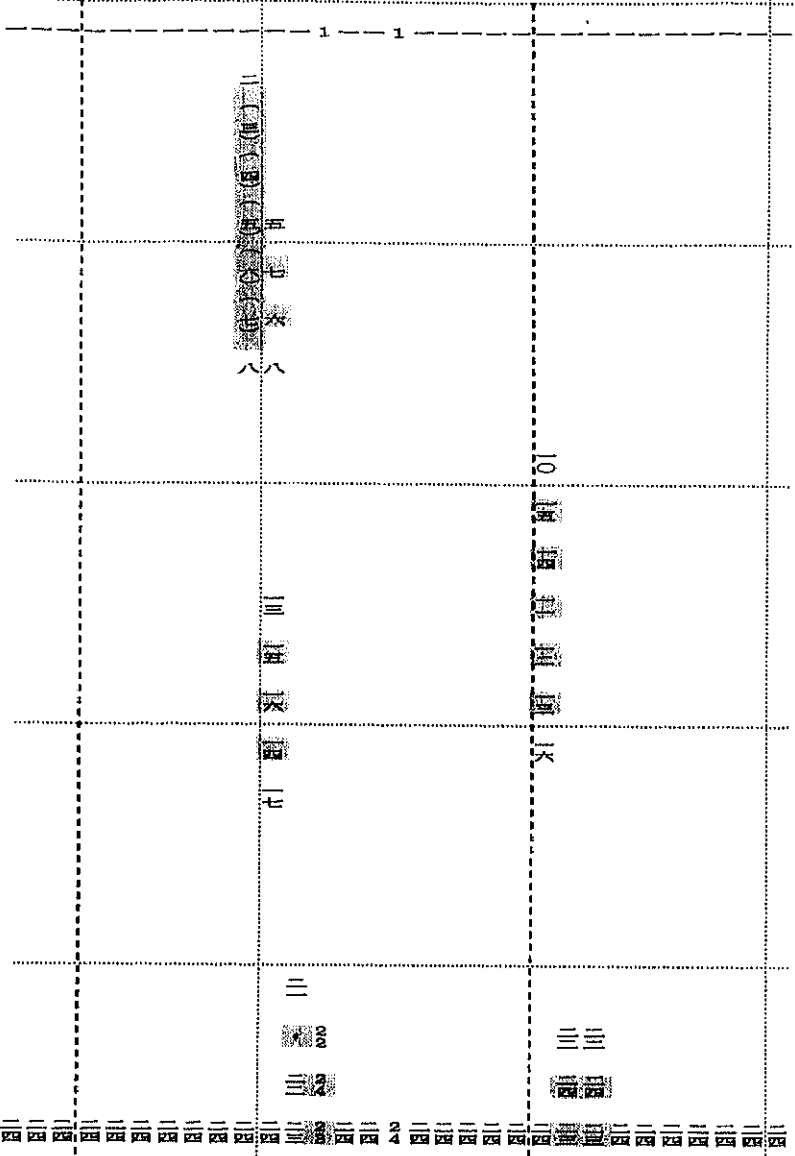
雲井よりたゞもりきたる月なればおぼろげにてはいはじと思ふ

小黒吉北東彰平犬小温本今狐川陽松狩杉桂東源御冷木日今高天寛
 野川田鷺京考松乙林故居治防越明平野甲宮洋大所泉村本井岡理文

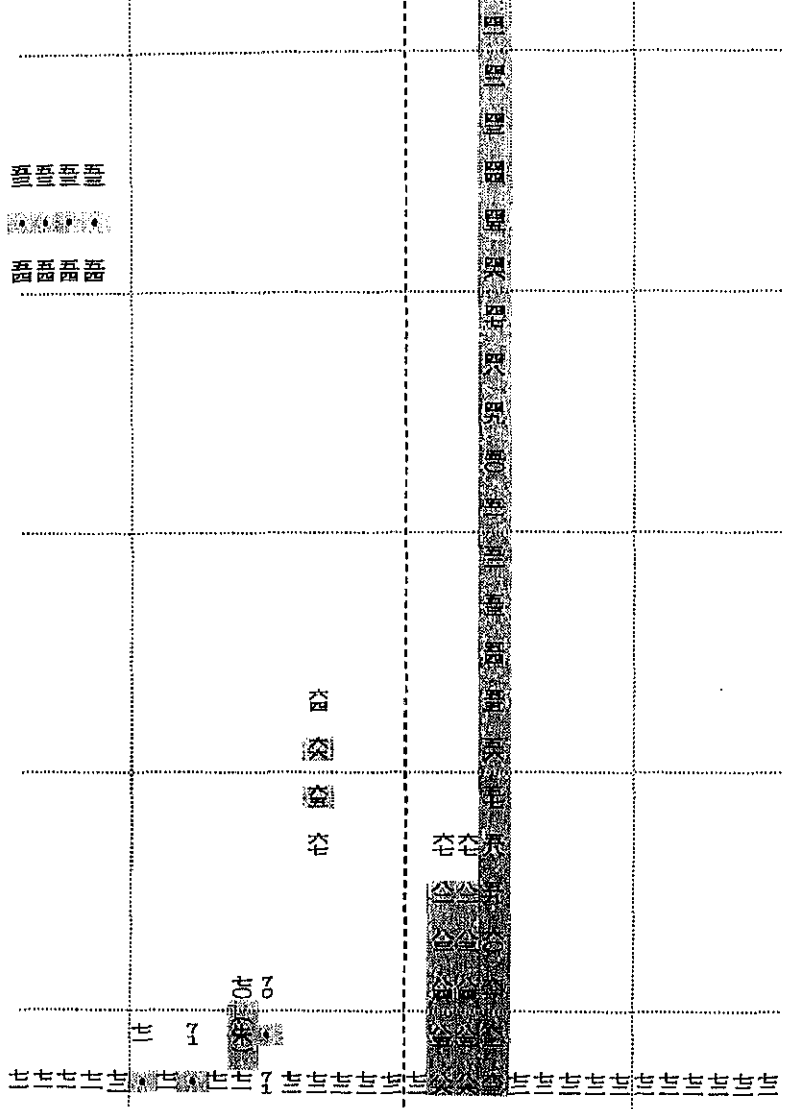
《所載歌番号対照表》

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|-----|
| | | | | | | | | | | | | | | 春 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 二〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 二一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 二二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 二三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 二四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 二五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 二六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 二七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 二八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 二九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 三〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 三一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 三二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 三三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 三四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 三五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 三六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 三七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 三八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 三九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 四〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 四一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 四二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 四三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 四四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 四五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 四六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 四七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 四八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 四九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 五〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 五一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 五二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 五三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 五四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 五五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 五六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 五七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 五八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 五九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 六〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 六一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 六二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 六三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 六四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 六五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 六六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 六七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 六八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 六九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 七〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 七一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 七二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 七三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 七四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 七五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 七六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 七七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 七八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 七九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 八〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 八一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 八二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 八三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 八四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 八五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 八六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 八七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 八八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 八九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 九〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 九一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 九二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 九三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 九四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 九五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 九六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 九七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 九八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 九九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一〇〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一〇一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一〇二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一〇三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一〇四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一〇五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一〇六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一〇七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一〇八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一〇九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一一〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一一一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一一二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一一三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一一四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一一五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一一六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一一七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一一八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一一九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一二〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一二一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一二二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一二三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一二四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一二五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一二六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一二七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一二八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一二九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一三〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一三一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一三二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一三三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一三四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一三五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一三六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一三七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一三八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一三九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一四〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一四一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一四二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一四三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一四四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一四五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一四六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一四七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一四八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一四九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一五〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一五一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一五二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一五三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一五四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一五五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一五六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一五七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一五八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一五九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一六〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一六一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一六二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一六三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一六四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一六五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一六六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一六七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一六八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一六九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一七〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一七一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一七二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一七三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一七四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一七五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一七六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一七七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一七八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一七九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一八〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一八一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一八二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一八三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一八四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一八五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一八六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一八七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一八八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一八九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一九〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一九一 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一九二 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一九三 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一九四 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一九五 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一九六 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一九七 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一九八 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 一九九 |
| | | | | | | | | | | | | | | * | * | 二〇〇 |

神書狐鶴岩岩部熊小仙玉桑杉青有杉尊市青桃三國新小泉茨茨内墨澄国十
宮陵川舞崎瀬瀬類本城台里原丙山吉乙経森木園康籍居田亭菅閣海清会二



| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| 岩瀬 | 部類 | 熊本 | 小仙 | 玉里 | 桑原 | 杉山 | 青吉 | 有乙 | 杉經 | 尊森 | 市木 | 青園 | 桃園 | 三康 | 国籍 | 新田 | 泉居 | 茨菅 | 内閣 | 墨海 | 澄清 | 国會 | 十野 | 小川 | 黒田 | 吉田 | 北郷 | 東京 | |
| 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 | 究 |



| 玉里 | 桑原 | 杉山 | 青吉 | 有乙 | 杉経 | 尊森 | 市木 | 桃園 | 三康 | 国籍 | 新居 | 小田 | 泉亭 | 茨管 | 内閣 | 墨海 | 澄清 | 国會 | 十二 | 小野 | 黒川 | 吉田 | 北鷺 | 東京 | 彰考 | 平松 | 犬乙 | 小松 | 温故 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 | 丸 |
| | | | | | | | | 丸 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 丸 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 |
| 101 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | |
| 101 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | | | | | | | | |

| 千葉 | 加賀 | 慶應 | 河野 | 犬野 | 関西 | 文西 | 鍋島 | 東本 | 北岡 | 佐賀 | 大嘉 | 静立 | 都立 | 給入 | 北野 | 類従 | 文化 | 色川 | 神宮 | 書陵 | 狐川 | 鶴崎 | 岩瀬 | 岩瀬 | 部類 | 熊本 | 小仙 | 台城 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |
| 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |
| 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |
| 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |
| 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |
| 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |
| 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |
| 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |
| 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |
| 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |

(注) 算用数字を以て掲げた杉乙・杉丙は、杉山氏論所掲の校異に拠る。

(六)ノ他ハ行間朱細字補入
(七・九)ノ補入アリ六首所収
(三)ノ他ハ朱筆重出補記ヲ抹消
(九)ノ後続の朱ハ卷末補記

〔注〕

松平 一〇四番ハ、奥書ノ後方ノ追加。

澄清 一〇四番ハ、補入加筆。

内閣 七五番・八五番ハ、同筆補入。

三康 九九番ノ詞書ハ、底本九九番ノ詞書（コノ本、底本ノ九九番歌ト一〇〇番歌ノ詞書トヲ欠ク）。

桃園 底本デイウト九三番詞書ノ中程カラ九四番歌中程マデ、朱筆補入。

佐賀 一〇一番ハ、同筆補入。

有吉 底本デイウト七一番ハ、貼紙・別筆・朱筆。

仙台 三番カラ七番マデ、同筆補入。

岩崎 五四番ハ、別筆補入。

文化 九五番ニ続ク歌ノ下句以下ノ欠脱ハ、料紙ノ破損ニ因ル。

北岡 一〇番・六五番ハ、別筆補入。

絵入 一九番・五一番ハ、刈谷図書館蔵本ノ別筆・朱筆加筆。管見ニ入ッタ他ノ絵入本ニハ加筆無シ。

色川 二番・五四番ハ、別筆補入。

関西 九七番ノ詞書ハ、直前ノ欠脱歌ノ詞書。

鍋島 四八番歌ヲ底本四九番ノ後ニ配シ朱ヲ抹消、四八番ノ位置ニ朱補。一〇一番歌ヲ欠キ卷末ニ補。

慶応 卷頭一葉欠落。五〇番ハ、詞書ノミ載リ、歌ヲ欠ク。

〔五〕 『忠度集』所収歌他文献所載状況一覧

『忠度集』所収各歌の他文献所載状況を歌番号によって「一覽表」とする。これは、『忠度集』所収歌で他文献に入集するものの中には詞書や歌本文を異にするものがあり、その本文流传を検討するための準備調査である。

| 歌番号 春一 | 勅撰集 | 私撰集・その他 | 当該歌不載本 |
|----------------------|-------|---|--------|
| 一〇 九 八 七 六 五 四 三 二 一 | 千載集六六 | 万代集一六八・夫木抄一七九二 月詣集一二三・別雷社歌合九五 月詣集一八四・治承三十六人歌合二五九・古来風躰抄五七七・歌 枕名寄五九四五・八代抄一〇三・平家物語語譜本・能（俊成忠度） | 鍋島・朱補 |

上段第一段に底本（寛文七年版行本）の歌番号を掲げ、その下段に、勅撰集・私撰集その他の順に、文献名およびその文献における歌番号等を『新編国歌大観』等によって掲げる。最下段に、その他文献所載歌を載せない『忠度集』の伝本名を示す。なお、他文献の諸伝本における歌の出入りや本文異同等の吟味は、未完了である。

《他文献所載状況一覧表》

| | | | |
|-----|----------|--------------------|------|
| 一六 | 玉葉集一六三詞書 | 月詣集一四二 | |
| 一七 | | | |
| 一八 | | 月詣集二一八 | |
| 一九 | | 言葉集三六四 | |
| 二〇 | | 治承三十六人歌合二六〇 | |
| 夏二一 | | | 千葉・欠 |
| 二二 | | | |
| 二三 | | | |
| 二四 | | 月詣集四一四 | |
| 二五 | | | |
| 二六 | | | |
| 二七 | | | |
| 二八 | | | |
| 二九 | | | |
| 三〇 | | | |
| 秋三一 | | 月詣集六〇八 | |
| 三二 | | 月詣集六六〇・治承三十六人歌合二六一 | |
| 三三 | | 治承三十六人歌合二六一 | |
| 三四 | | | |
| 三五 | | | |
| 三六 | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 五七 | 五六 | 五五 | 五四 | 五三 | 五二 | 冬五一 | 五〇 | 四九 | 四八 | 四七 | 四六 | 四五 | 四四 | 四三 | 四二 | 四一 | 四〇 | 三九 | 三八 | 三七 |
|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|

風雅集六二三

治承三十六人歌合二六三

治承三十六人歌合二六四

万代集一四三七・夫木抄六八八〇

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----|----|----------------------|----|----|-------------------------------|----|----|---------|----|----|----------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 七八 | 七七 | 七六 | 七五 | 七四 | 七三 | 七二 | 七一 | 七〇 | 六九 | 六八 | 六七 | 六六 | 六五 | 六四 | 六三 | 六二 | 六一 | 六〇 | 五九 | 五八 |
| 玉葉集一二九〇 | | | 新勅撰集八五二 | | | 新拾遺集一〇九〇 | | | 新拾遺集九四五 | | | | | | | | | | | |
| 月詣集五五八 | | | 治承三十六人歌合二六七・歌枕名寄三九七三 | | | 月詣集三七九 万代集二三四六・治承三十六人歌合二六五 | | | 月詣集五〇三 | | | 治承三十六人歌合二六六・題林愚抄六三三一・言葉集一四 | | | | | | | | |
| 東大寺・朱 | | | | | | 類從北野・欠 加賀・欠 | | | 北岡・補 | | | 千葉・欠 | | | | | | | | |

| | | | |
|----------------------------------|---------|---------------------------------------|-------|
| 七九 八〇 | 玉葉集一三三七 | 瑩玉集一〇・無名抄五三 | |
| 雜八一 八二 八三 八四 八五 | | | |
| 八六 八七 八八 八九 | | | |
| 九〇 九一 九二 九三 九四 九五 | | 万代集三五四一 万代集三五四二（盛方妻返歌） 一品経和歌懐紙一 | 文理・欠 |
| 九六 九七 九八 九九 | 風雅集二〇五八 | 月詣集一〇五八 | 文化・欠損 |

| | | | |
|--------|----------|-----------------------------|--------------|
| 一〇〇 | | 月詠集八四九・別雷社歌合二五五・治承三十六人歌合二六八 | 関西・欠 |
| 一〇一 | 玉葉集二五五三 | 月詠集八三七・一品経和歌懐紙二 | 鍋島・犬甲・朱。大方・欠 |
| 一〇二 | | | |
| 一〇三 | | | |
| 卷末等追加歌 | | | |
| 松一〇四 | | | |
| 玉一〇四 | 続後拾遺集一七一 | 異本忠盛集一五〇 | |
| 澄一〇四 | 玉葉集一一一六 | 平家物語諸本・能〔忠度〕、能〔俊成忠度〕 | |
| 川一〇四 | | 平家物語覚一本 | |
| 川一〇五 | | 平家物語諸本 | |
| 茨一〇四 | | | |
| 茨一〇五 | | | |
| 東一〇一 | | 平家物語諸本 | |

〔注〕歌番号は、『新編国歌大観』所収本文による。『歌枕名寄』のみ、古典文庫本による。

〔詞書〕とある歌は、詞書中に引用されているものである。

〔玉里一〇四〕は、続後拾遺集・異本忠盛集とも、平忠盛の詠歌とする。

〈六〉 『忠度集』諸伝本の整理から

以上、『忠度集』の伝本について、諸先覚のなされた所在報告や翻刻等と諸文庫・諸図書館等の蔵書目録等に導かれて整理を試みた。資料整理に徹した本稿(上)から鮮明になった問題点を、二三、指摘しておく。

現在所在報告のある『忠度集』の伝本は、書写本が一〇〇余本、版行本が三種である。他にも数多くの写本が伝わると思われる。森本元子氏が「諸本、特に信頼するに足る本の本文を網羅一覧し、一々比較検討して、純正な本文を見極め」ることの必要性を説かれた提言の強く実感される伝本の数の多さである。

この集には内題の示されない伝本が多い。書名が示されるはあい、その書名は種々で、内題のみを見ても二十七種余、外題を加えると四十五種余になる。書名のみを以てしてはこの集の伝本の整理は不可能である。何故に書名のない伝本が多いのか、何故にかくも書名が多岐にわたるのか、本稿の調査を検討の契機にしたいと思う。箱題に「定家本」と角書があつて藤原定家風の筆による書写伝本の存在、奥書識語の中に定家や御子左家と関わる言辭のあるものが見られる事実、定家筆断簡の伝存する事実、これらを併せ考えると、杉山氏論文で定家の介在する『忠度集』が存在したと「推定」された問題なども、本稿の整理から検討を開始できるはずである。

各伝本に示される奥書識語・刊記も、種々である。同内容別文の奥書識語等の存在、同文の奥書識語等の諸本間の本文変化には、注目すべきところがある。奥書から判る最も早い書写が文明十六年である件、本位田菊士氏が示しておられる書名に関する問題点や「自筆本伝説」の伝播の件などの問題の更なる検討のためにも、この諸伝本の奥書識語や跋文の一覧は不可欠であろうと考える。

各伝本の所載歌の確認からは、同一歌歌を載せる伝本であっても中には歌順が異なるものがあり、錯簡のあるものもある。諸先覚は歌数に拠つて伝本分類を試みられたが、「歌数の相違は本文における系統の別を意味するものではなさそうである」と杉山氏論文に指摘されているとおりである。それに、巻末の和歌の追加は各伝本個々の段階でのものであつて、『忠度集』の諸伝本の書承・流伝とは無関係であると言えそうである。

最も注意を要するのは、書名と奥書等と所載歌の三点それぞれにおいては諸伝本の中で或る程度共通性の認められる伝本群が幾種かあるものの、その三点が全体としては対応してはいないという事実である。《書名対照表》と《奥書識語等一覽》と《所載歌番号対照表》が同じ伝本群で提示できないことが、それを如実に示している。書名と奥書等と所載歌三点の諸伝本の類似関係が各伝本の間で合致してはいないのである。これは、『忠度集』

として信頼し得る本文を追及するためには、集の詞書および歌の本文の差異を検討する以外に途がないことを示している。資料整理である本稿(上)を報告した上で、それらを検討する本稿(下)を準備する所以である。

本稿の検討は、略称を与えていない写本が十数本もあることから判るように、稿者未見の伝本が多い。特に、個人ご所蔵の伝本は殆ど未見である。また、稿者の目の行き届いていない蔵書目録類に載る諸文庫・諸図書館の蔵本も多いことと思う。それに、古書肆や古書即売会の目録等で瞥見した本、伝存を仄聞する本、ご所蔵の公表や閲覧・検討が許されない本など、他に伝本は多い。「忠度集」の伝本所在について、大方のご教示を賜りたい。

〈付言〉

本稿は、筑波大学大学院博士課程人文社会科学科学研究科文芸・言語専攻(文芸・言語研究科)における稿者担当の平成十四・五年度講義「日本中世文学研究」の成果の一部である。当該講義においては、本稿において検討した伝本の内の約半数に当る四〇の伝本・断簡等について比較し、一首々々の歌の本来的な歌形の追求を試みている。本稿には、講義に参加し演習を担当している小井土守敏・婁慶娥・黄東遠・岩城賢太郎・佐藤理絵・小野のぞみ・渡辺幹男・村松義明八君の発表や発言を取り入れて敷衍・発展させたところがある。その名を記して謝意を表わすものである。

本稿をなすにあたり、「忠度集」諸伝本の閲覧・複写・写真撮影等のご許可を賜った諸寺社・諸文庫・諸図書館等のご所蔵者各位、また、その閲覧に際して種々ご助力を賜った関係者諸氏、第一節に掲げたとおり伝本の所在の追跡と確認のために参照させていただいた諸文献目録・諸蔵書目録・諸研究論文の作成者・調査担当者・先覚諸氏、荒木尚氏稿「松井家寄贈古書目録」についてご教示を得た森正人氏、ご所蔵本等この集の伝本を翻刻された先覚、また、国文学研究資料館閲覧室諸氏、伝本の所在確認・照会や紹介に助力を惜しまれなかつた筑波大学中央図書館相互利用係・レファレンス係に、あつく御礼申しあげる。